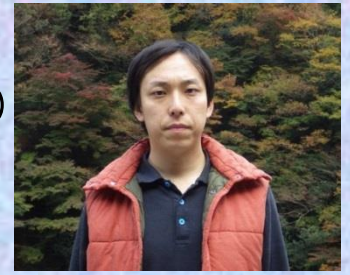


～親子2代にわたる林業～

宇佐美 克弥さん（西条市（旧東予市））

（有）西屋林業 代表

1986年 生まれ



☆経営概況☆

自社所有林の伐採・搬出及び素材生産請負

父、宇佐美禎夫（前愛媛県林業研究グループ会長）が平成2年に「西屋林業」を設立したことに始まります。

当時の私は4才で、その後も、父親がしている林業には見向きもせず、自分の夢である保育士を目指し、短大で資格を取得、市内の児童館に就職したものの、男性職員という葛藤を抱え、5年目に退職しました（林業への女性参入の難しさを違う立場から経験しました）。

そうしたとき、代々受け継がれてきた山林を守る父の背中を見て林業を志し、いしづち森林組合の現業職員として様々な現場を経験するうちに、山の現状をみる自分の中にさまざまな感情が芽生えました。

- かつて、これらの山では汗水を流しながら木を植え育てた先祖がいたこと
- 今、手入れされない山が目の中にあること
- 自分の仕事で山が元気になり、自然が豊かになっていくこと

こうした想いと向き合いながら仕事を続けるうちに、「林業が何十年、何百年先に繋がる尊い仕事である」と気づき、平成29年4月に、西屋林業を引き継ぐこととなりました。

☆ここがポイント☆

■親子2代にわたる林業経営

先代が、森林作業路網の整備・森林経営計画（2地区計50ha）の策定など、経営基盤の整備に努めた結果、ほかの事業体（高性能林業機械の導入による規模の拡大）とは一線を画し、所有森林規模に応じた林業経営をモットーに、「顔の見える林業」に取り組んでいます。

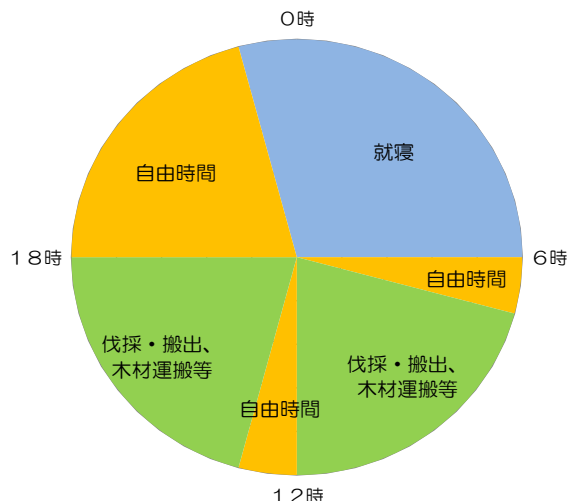


父：宇佐美禎夫氏と共に作業



所有山林にて

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

結婚したばかりで、今までと異なる生活を送ることになりましたが、朝7時に出勤し、仕事帰りに木材市場まで出荷するので18～19時に帰宅し、夫婦の時間を持つようにしています。

休日は、天候に左右される仕事のため、日曜に休めないこともあります。言い換えれば時間に自由がきくので、レコード収集、鑑賞など、趣味や仲間との時間も満喫しています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期・普通期】	悪天候の場合が休日となる。					
← 伐採搬出、木材運搬 →						



子供たちとお箸づくり



お気に入りのレコード

☆これからの夢や目指すもの☆

第一は、自分で伐った木でマイホームを建てることです。

木にもさまざまな特性を持った種類があるので、どこの部材にどのような樹種を使うのか良いのか学び、マイホーム「きこりの家」を目指します。

次に、児童館勤務の経験を活かして、子どもたちに「夢のある林業の未来」を伝えることです。既に木のお箸作りなどの林業教室を行っていますが、もっと夢を語れるよう地域の仲間と協力し、林業の良さを次の世代に引き継ぐことです。

☆メッセージ☆

林業に少しでも興味のある方へ。

「きこり」「またぎ」など隔世の感たよう言葉ですが、プロセッサやハーベスタなどの高性能林業機械の導入が進み、若い人が働く伐採現場は、まさしく「一見の価値あり」です。

「好きこそものの上手なれ」あなたの「好き」を探しに来ませんか？